

Japan Knowledge Lib [ジャパン ナレッジ リブ]

京都橘大学
図書館

Japan Knowledge Lib[ジャパン ナレッジ リブ]は、約 50 種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる、国内最大級の辞書・事典集合データベースです。

【基本検索】は、搭載されている辞事典を横断検索しやすいようシンプルな設定になっていますが、【詳細（個別）検索】では、各辞事典に応じたオリジナルの絞り込み機能を備え、より詳しく検索できるようになっています。

言葉の意味を調べるだけではもったいない、欲しい“知識”が素早くわかります。

基本検索

The screenshot shows the Japan Knowledge Lib search page. Annotations A-F highlight key features: A (Basic Search), B (Search Scope: '見出し'), C (Search Box: '地震'), D (Search Content List), E (Search Results), and F (Sort/Filter options).

A: 検索メニュータブ

検索機能を切り替えることができます。

搭載コンテンツすべてを使った、一括検索の場合は、**基本検索**を選びましょう。

B: 検索範囲

「見出し」と「本文」を切り替えて検索することができます。

デフォルトでは「見出し」になっていますが、「本文」にすると広範囲でのヒットが望めます。

C: 検索ボックス

調べたいワードを入力してください。(サジェスト機能があり。最大 10 件の候補が表示。)

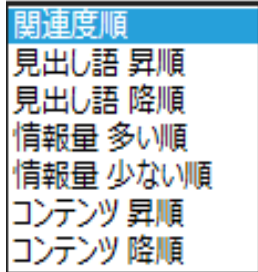
D: コンテンツファセット/メディアファセット

検索結果を、分野や搭載コンテンツごとに仕分け、必要な情報を絞り込むことができる機能です。
気になるコンテンツ種別をクリックすれば、具体的な辞書・事典の名称が表示されます。

E: 検索結果一覧から、閲覧したい項目をクリックすると、その項目の本文が表示されます。

本文左上部には、具体的な辞書・事典名があります。

F: 検索結果表示切り替え



ソートのデフォルトは「関連度順」になっています。

これは、検索ボックスに入力したワードと、適合性がより高い項目順に表示させるためです。

完全一致 ⇒ 前方一致 ⇒ 部分一致 の順で並んでいます。

詳細（個別）検索

搭載されているコンテンツの内、『新編 日本古典文学全集』（小学館）の語彙検索機能を紹介します。

≪例≫ 『新編日本古典文学全集』に収録されている『源氏物語』の本文中にある、「夢」をピックアップ

A: 検索メニュータブ

検索機能を切り替えることができます。

詳細（個別）検索を選びましょう。

B: コンテンツ選択メニュー

クリックするとプルダウンメニューが展開、コンテンツを選ぶことができます。

※例題より、『日本古典文学全集』を選択します。

D: 検索ボックス

検索するワードを入力します。

E: 検索範囲

コンテンツによって異なりますが、様々な範囲を設定することができます。

例題の『日本古典文学全集』の場合は、

「作品名」「古典本文」「現代語訳」「頭注」「すべて」から選ぶことができます。

※例題では「古典本文」を選択します。

時代 リセット

上代 0
中古 55
中世 0
近世 0

ジャンル リセット

歴史書 0	地誌 0
歌集 0	説話 0
物語 55	日記・紀行 0
随筆 0	文芸評論 0
軍記 0	歌謡 0
法語集 0	能狂言 0
連歌・俳諧 0	戯作 0
浄瑠璃 0	漢詩 0

作品名 リセット

古事記	日本書紀
風土記	萬葉集
日本霊異記	古今和歌集
竹取物語	伊勢物語
大和物語	平中物語
土佐日記	蜻蛉日記
うつし物語	落窪物語
堤中納言物語	枕草子
和漢朗詠集	源氏物語 55
和泉式部日記	紫雲日記
更級日記	讃岐典侍日記
浜松中納言物語	夜の寝覚
狭衣物語	栄花物語
大鏡	今昔物語集
住吉物語	とりかへばや物語
松浦宮物語	無名草子
将門記	陸奥日記
保元物語	平治物語
神楽歌	催馬楽
梁塵秘抄	閑吟集

C : 内容項目選択メニュー

実際には、Bで選んだコンテンツにより表示される内容が異なります。

『日本古典文学全集』の場合は、まず、「時代」「ジャンル」「作品名」の3つに大別されるので、自身の検索に合った項目を選びます。

※今回の例題では具体的な作品名『源氏物語』を設定しているので、「作品名」の項目から『源氏物語』を選び、クリックしてください。が付くはずです。

新編 日本古典文学全集 > 本欄: 作品一覧へ

絞り込み: 作品名 ×

43 作品 (作品内の章段などを一部含む) スニペット 目録昇順 20件

1. 桐壺(源氏物語) 平安時代(1001~10年ごろ成立)

日本古典の最高傑作——光源氏の波瀾万丈の生涯を描いた大長編
主人公・光源氏の恋と栄華と苦悩の生涯と、その一族たちのさまざまな人生を、70年余にわたって構成。王朝文化と宮廷貴族の内実を優美に描き尽くした、まさに文学史上の奇...

校注・訳/阿部秋生 秋山 虔 今井源衛 鈴木日出男

桐壺(源氏物語) 28ページ
ややためらひて仰せ言伝へきこゆ。命婦「しほいは夢かとのみたどられしを、やうやう...

[>> 該当ページ一覧を開く \(1ページ\)](#)

『新編 日本古典文学全集』に集録されている、「源氏物語」の古典本文中に【夢】が出てくる箇所がピックアップされます。

源氏物語

る状態の意を重ねる。二六の法。一けには、今まで...の母君の言葉を受け、なるほどその言葉の通りに、以下、教員命婦に先立つてこの邸を見舞った典侍が帝に奏上した言葉。三更衣の母君の不穏さ心に心痛む感じ。四女官。内侍司の次官。五物事の情理を解せぬ心持。命婦の謙遜した物言。六なるほど典侍の言葉と物言に。

一以下、帝の言葉。更衣の死の当座は、「たどる」は手探りで探し求める意から転じて、思い迷う状態。二たぐいなが落ちて着いてくるので、かえって、夢ではないので覚めるはずなく堪えがたいとする。三問ひあはす(へき人)としての母君の参内を要請。しかし、「忍びて」とあり、公然とは参内しがたい。四帝から見て気がかりな有様で。五悲しみに沈む更衣の邸。二六の注。六帝は思はるるをと言ったのであろうが、命婦が伝える場合、帝への尊敬の気持から敬語に変ったのであろう。ハ一方でとり乱しながら、また一方では周囲に気がねしている帝を正視するに堪えず、仰せ言を十分に承らない。かつは、他にもう一面あることを言ひ表す語法。九子ゆえの闇(二七)注。十にかきくれる涙のため。一〇畏れ多い帝の仰せを、心の闇を照らす光として。一一思ひやるは、離れず光像する意。一二若宮をあなとも

りけれ」とて、ややためらひて仰せ言命婦「しほいは夢かとのみたどられづまるにしも、されべき方なくたへがわぎにかとも問ひあはずべき人だになまひなんや。若宮の、いとおぼつかなまふも心苦しう思さるるを、とく参りかしうものたまはせやらずむせかへら人も心弱く見たてまつるらんと、思御気色の心苦しきに、うけたまはりもかではべりぬる」とて御文奉る。

一〇「目も見えはべらぬに、かくかなん」とて見たまふ。

一〇「目も見えはべらぬに、かくかなん」とて見たまふ。

添へて、いと忍びがたきはわりなき人をいかにと思ひやりつつ、もる

ピックアップされたものをクリックすると、『新編 日本古典文学全集』のデジタル版がそのまま表示され、実際に【夢】の表記がある箇所を確認することができます。

その他の機能① ~引用元挿入

DB: Japan Knowledge Lib には、検索結果本文(テキスト)をコピー&ペーストした際、その引用元情報を自動的に追加する機能があります。

レポートや論文の執筆の際に使用した場合は、引用元情報をそのまま添付利用できます。

日本大百科全書(ニッポニカ)

源氏物語

げんじものがたり

平安時代中期の11世紀初め、紫式部によって創作された長編の虚構物語。正しい呼称は「源氏の物語」で、「源氏物語」は「源氏物語」「紫の物語」「紫のゆかり」などの呼び方もある。後世は「源氏」「源語」「紫文」

「源氏物語」, 日本大百科全書(ニッポニカ), [JapanKnowledge](http://japanknowledge.com), <http://japanknowledge.com>, (参照 2016-11-14)

その他の機能② ナレッジサーチャー ~Knowledge Searcher

ある事項について検索、本文（テキスト）を読んでいたら、別の疑問が湧いてきた、という時に便利です。分からないことは“今すぐ解決”です。

《例》『源氏物語』で検索したら、“紫史”ということばが出てきたが、意味がよく分からないなあ。

源氏物語

げんじものがたり

平安時代の11世紀初め、紫式部によって創作された長編の虚構物語。正しい呼称は「源氏の物語」で、「光るけしみの物語」「紫の物語」「紫のゆかり」などの呼び方もある。後世は「源氏」「源語」「紫文」「紫史」などの略称がある。

構成し、王朝文化以前の物語作品後の物語文学史としての遺産である。[秋山 虔]

巻冊数・成立

現在の源氏物語

紫史の検索結果 (5件)

- しし【紫史】(デジタル大辞泉) 《紫式部が書いた書物の意》源氏物語のこと。...
- しし【紫史】(日本語大辞典) 《紫式部の作ったふみの意》「源氏物語」の異称。《標ア》[シ] <1>...
- 『筑紫史談』(日本史年表) 1914年(大正3 甲寅) 4・筑紫史談会『筑紫史談』刊。...
- ちくしだん【筑紫史談】(国史大辞典) 筑紫史談会の機関誌。大正二年(一九一三)春に設立された太宰府史談会と、新設の機運にあった福岡史談会が協議合体し、同年五月筑紫史談会を設立、...

Knowledge Searcher

前項目 次項目 印刷 凡例

前項目一覧

- ゲンジボタル
- 限時法
- 源氏節
- 源氏名
- 現実原則
- 幻日
- ゲンジスミレ

A : 本文右手にある、**Knowledge Searcher** をクリックし、白からピンクにします。

B : 調べたいワードをマウスでなぞり、選択します。

※事例では、「紫史」を選択します。

C : 別ウインドウで検索結果が表示されます。

クリックすれば、「紫史」の詳細結果をみることができます。

※【**Knowledge Searcher**】での検索を終え、通常検索に戻るときは、もう一度 **Knowledge Searcher** をクリックし、ピンクから白にします。



重要メモ

DB : JapanKnowledge Lib の利用が終了したら、速やかに画面右上部の

京都橘大学 様

ログアウト

ボタンを

クリックし、必ず利用終了してください。